

### ■29.4.3 市長定例記者会見内容

日時 平成 29 年 4 月 3 日（月）午後 1 時～1 時 50 分

場所 庁議室

出席 市長、副市長、市政推進調整監、企画振興部長、商工観光部長、政策推進課長、商工港湾課長、観光振興課長

酒田記者クラブ 11 社（山形新聞、荘内日報、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、河北新報、NHK、YBC、YTS、TUY、SAY）

### ■内容

#### 1. 記者発表事項

- ① ‘17 食博覧会・大阪に出展します／同博覧会は 4 年に 1 度開催され、今年で 9 回目を迎える日本最大の食のイベント。今年、北前船寄港コーナーが設けられることから、本市と秋田市が合同で出展する。昨年 6 月、秋田市で行われる「これが秋田だ！食の大祭典 2016」に本市からも参加した際、同時に北前船の寄港地の会議が行われた。その際、大阪から来た出席者より今回の博覧会の参加要請があり、参加表明をしたもの。北前船寄港地の紹介と各地域の物産販売のコーナーも設けられる。北前船日本文化遺産登録申請に名を連ねた寄港地 11 都市の内、今回は 9 都市が参加する。博覧会開催の時期には、日本遺産登録の結果が決まっていると思うので、その場でいい報告ができればとも思う。10 日間に渡って開催されるが、60 万人の来場が予想されており、北前船寄港地としての酒田を、関西地方の皆さんに PR してきたいと思う。4 月 28 日から、酒田・鶴岡—京都の高速バスも営業開始すると聞いている。庄内地方からも博覧会に行ってもらえればと思う（市長）

#### 【①に関する質疑応答】

- ・ 主催団体はどこか。また酒田市・秋田市が合同出展となっているが、北前船寄港地 22 自治体全てが出展するわけではないのか（記者） → ブースごとの出展料が高価なため、複数自治体が共同出展することでそれを分担している。主催者については、同博覧会実行委員会、（一社）大阪外食産業協会、（公財）関西大阪 21 世紀協会である。山形県は別のブースに出展する（観光振興課長）
- ・ 1 つのエリアを 22 自治体で借り切って、その中の 1 ブースに酒田市と秋田市で共同出展するということか（記者） → その通り（市長）
- ・ 酒田・秋田のブースでは、具体的にどんなことをやるのか、何を販売するのか（記者） → 北前船に関連する物産を展示販売する。北前船にちなんだ菓子、紅花茶、米など（観光振興課長）
- ・ 祭りの関係での出展はあるか（記者） → 秋田市の竿灯が招かれているが、本市は祭り部門での出展はない（観光振興課長）
- ・ イベント実演コーナー、何のイベントをやるのか（記者） → 具体的にはまだ決まっていないが、他の自治体と相談し、PR などやっていきたい（観光振興課長）
- ・ 日本遺産の登録認定の可否が決定する時期はいつごろか（記者） → 去年は 4 月 25 日前後（観光振興課長）
- ・ 感触はどうか（記者） → わからないが、これだけ頑張ったのだから認定してほしいと

いう思いはある。広域（シリアル型）の認定は前例がないので心配だが、何とか認定してほしいと思う（市長）

- ・ 食博覧会、酒田市と県内自治体の参加実績は（記者） → 他自治体については不明だが、本市は初めての出展である（観光振興課長）
- ・ 関西圏とのつながりが深いわけだが、今回の博覧会、改めて大阪とのつながりを深めていくという思いがあるのか（記者） → 川村瑞賢の最終目的地は大阪。北前船について語るとき、大阪は避けて通れない。北前船寄港地フォーラムを大阪でやった際に、今回のオファーがあった。将来的に、大阪も取り込んで北前船寄港地の日本遺産を拡大するという戦略上も、今回のようなイベントに参加し、大阪の皆さんからも知ってもらうために有効と考えた。昨年は酒田しか手を上げていなかったが 22 自治体が参加した（市長）
- ・ 北前船寄港地の日本遺産登録に関し、大阪は手を挙げていないのか（記者） → まだ挙げていない。南越前町～松前の 11 都市。大阪まで入れるとなると膨大な数となり、文化庁も認定はしてくれないだろう。大阪は今後の話だと思う（市長）

## 2. 懇談

### 【①大型客船関連】

- ・ 先日大型客船対応の岸壁が完成。飛鳥Ⅱも無事寄港した。今後の受け入れ態勢をどう構築していくのか。また今後の誘致について（記者） ⇒ 飛鳥Ⅱの入港・出港の際の市民の皆さんのおもてなしについては、天気が良かったのもあるが、全体的に大変良かった。とりわけ感動したのは酒田青年会議所の「日吉丸」が歓迎時は 2 時間半も練り歩き、出港時も来てくれた。市民の思いが具体的な行動につながった。そのような環境が整いつつあるのかなと思う。獅子頭も並んでいたが、それが動いたり、出店が増えたり、テープでの出港見送りにもっと多くの市民が参加したりすれば、もっとよくなる。車の停まる位置など課題も。古湊ふ頭に建設中の倉庫の壁面にも歓迎の表示がされる予定。これからもっと市を挙げた歓迎の環境整備はなされると思う。市民の皆さんや物産販売の人が増えるともっといい。昨日も羽黒山の山伏、「愛の武将隊」が来てくれた。さまざまなものを巻き込んでやればもっとよくなると思う。音響面など改善の余地も大きいとは思いますが（市長）
- ・ 誘致についてはどうか（記者） ⇒ 来年、ダイヤモンドプリンセスが寄港する。16 万トン級の船が入れる港は、東北では酒田港だけ。そのクラスの船が入ってくれるようにトップセールスを頑張りたい。1 回だけでなく、2 度、3 度と来てもらえるように、酒田交流おもてなし市民会議を活用し、受け入れ態勢を整えていきたい（市長）
- ・ 16 万トン級、つまりクアンタム・オブ・ザ・シーズの寄港を念頭に、アメリカの見本市への出展も見据えた動きになるのか（記者） → 県の協議会の中ではそういう話もある。市長も上海にあるクアンタムの船会社のアジア総支社を訪問し、トップセールスを行っている。引き続き、クアンタムも含めて誘致を行っていく（商工観光部長）
- ・ 今回の飛鳥Ⅱ受け入れの際、酒田交流おもてなし市民会議は、どのような動きをしたのか（記者） → 市民会議の中でさまざまな案の提案調整を行っている。今回の青年会議所の動きも、市民会議が直接動いたわけではなく、同会議はあくまでもプラットフォームとして、商工観光部と一緒に連絡調整をした（市政推進調整監） 市民会議にさまざまな人が関わって案を出してくれたお

かげで、今回のような動きが実現した。今回、船長に花束を贈呈した女性は「クルーズガールズ」のメンバーである。一つ一つは小さい動きだが、その動きが市民会議に流れていって実現したことはとてもいいこと。会議を立ち上げてよかった（市長） 中町では、マリーナ5 清水屋が、店頭で物販もしてくれた。シャトルバスの試験運行を行ったが、オプションツアーに参加していない160人ほどの乗船者のほとんどが、市内に繰り出してくれたようだ（商工観光部長）

### 【②手挙げ方式の人事について】

- ・ 平成 29 年度人事異動に関し、手挙げ方式による若手の登用が行われたと思うが、今回の人事にどのように活かされたかを教えてほしい（記者） ⇒ 3人が手を挙げた。副市長・総務部長の面接を経て、2人を市長公室の交流担当として発令した。また市長公室長を配置。次長もいる。そんなに多く人数を配置するつもりはなかったが、2人を配置し、室長・次長も含めて交流事業の拡大を進めてもらう。思った通り少なかったというのが正直なところ。若手の職員の中で、自分の思いを酌んでくれる職員がそんなに多くいるとは思えなかった。最悪誰もいないかと思ったが、3人いて良かった。これから何をやるかが問われると思う（市長）
- ・ 2人に具体的にやってほしいことは（記者） ⇒ これから伝える。この週末に行われた飛鳥Ⅱ、武蔵野さくら祭り、来週はデラウェアの皆さんが来る。酒田まつり、東北港湾都市協議会の総会、いか釣り船団など、次々に交流事業が予定されている。そんな中で、縦割りではなく、市役所全体、市全体でもてなす雰囲気作りのために、フルスロットルでやっていきたい（市長）

### 【③ふるさと納税関連】

- ・ 返礼品に関し、4月1日付で総務省から納税額に対する返礼品の割合を3割に抑える要請および高額返礼品を控える要請があったと思う。酒田市としての今後の方針は（記者） ⇒ 具体的には決まっていない。通知は通知として受け止めて今後検討していく。これまでもインターネット等を通じて寄付を募ったこともあり、どのように手直しできるかは不透明（市長） 返礼品3割が全面に出ているが、制度の周知の仕方や、返礼品のアピールの仕方など細かい部分の通知が来ているので、基本的には総務省通知に添った形でやっていきたい。細かい部分はこれから。寄付金の一部で地場産品を購入し、アピールしているという、地元の産業振興という面もある。そういう部分を無視して、返礼品の割合がどうだといわれるのは不本意な部分がある。ただし、多方面で混乱が起きているのも間違いの無い事実だと思うので、今後時間をかけて検討したい（市政推進調整監）
- ・ 思うところがあるが、基本的には通知に従うということか（記者） → その通り（市政推進調整監）
- ・ あくまで目安であり、強制力はないものなので、他自治体の動きを見るという手もあると思うが（記者） → その選択肢も捨ててはいない。具体的なペナルティはないし、趣旨は十分理解の上、対応について協議したい（市長）
- ・ 高級な物品といえば、日本海病院の人間ドック、ゴルフクラブなどが該当するのか（記者） → 前回の通知から高級品に関する条項は入っている。資産性が強いものに関しては、今回は対応しなければならないのではないかと。ただ日本海病院のドックがそれにあたるかどうかは不明。一般的に高額品は物品を対象にしたものと考えられるので、その点は今後も情報収集したい。地域の

特性を出したものだと思うので、よく検討したい（市政推進調整監）

- ・ 酒田市の返礼割合はどれくらいか（記者） → 半分をめでに設定しているが、平均で 54%くらい（市政推進調整監）
- ・ 手数料、発送料を含むのか（記者） → 含まない（市政推進調整監）
- ・ 手数料、発送料を含めるとどれくらいか（記者） → 手数料や人件費などかかる経費全てを入れると 7 割くらいになる。ただ、総務省の定義では手数料などは除いた商品の対価で 3 割である（市政推進調整監）
- ・ 昨年、総務省から転売でき、利益につながるパソコンなどを自粛する要請があったと思うが、その際酒田市では、それも含めて酒田市の産業であるとの認識だったと思うが、今回はあえて通知に従うのはなぜか（記者） → 通知は自治法上の勧告助言に当たるものだが、今回は、調査をするとの文言も盛り込まれている。酒田市としては、他の地域から買ったものを打っているわけではなくあくまで地元産品をお礼として提供しているだけという認識だったものの、今回は、そのような例も含めてやめるようにと強く言ってきているため、再考せざるを得ないものと思う（市政推進調整監）
- ・ つや姫が目玉になったが、今回つや姫も該当するか（記者） → 該当しないと考える。資産性の強いものとして列挙されているもの以外は、割合を下げるようにとの要請がされているという認識。いずれにしても、通知がきたからすぐに変えることは難しいと思うので、市で整理し、業者と相談し、やっていきたい（市政推進調整監）
- ・ 今年度から行う予定のガバメントクラウドファンディングに影響はあるか（記者） → 今のところは当初予定通りに取り組みたいと思っている。同事業に関しては、早期に開始したいと思っているので、変更がある場合も合わせた形でやるしかないと思う（市政推進調整監）

以上